

# Fishing Boat Impression



「こんなレンタルボートがあったら最高だね」と、カメラマンの丸山さん。魚探やロッドホルダーのクランプを取り付けられるのもお気に入りとか

## こんなレンタルボートを借りたい

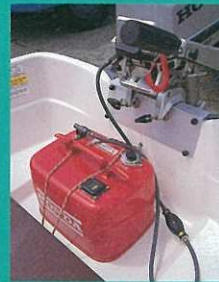
### TERHI 385



ABS樹脂のテルヒ385は、FRP製の手漕ぎボートに比べ仕上げがすっきりして美しい



テルヒ385は2人で持ち上がる重さだが、乗用車にカートップはちょっと厳しいだろう



燃料タンクはゴムバンドで固定する方式



明確なチャインがない丸底のボートだが、ストリップが左右3本ずつ入り、バウからスターンまで大きめのスケグが通っているため、フラつき感は抑えられている

本誌読者にも、免許は取得したもの、まだボートを購入していないボートフィッシングファンがけっこういると聞く。そんな潜在マイボートアングラーは、レンタルボートを借りる機会が多いそうだ。近頃、エンジン付きボートを置いている貸しボート屋さんも増えてきているようで、レンタルボート＝手漕ぎボートという図式は成り立たなくなってきた。

このテルヒ385は、そんなレンタルボートとしてぜひ借りたい、貸しボート屋さんにはぜひ置いてほしいスモールボートだ。

フィンランドのロウ（手漕ぎ）ボートでは最もポピュラーなテルヒ385。手漕ぎ用として使うのはもちろんのこと、8馬力までのエンジンを搭載できるので、レンタルボート屋さんでもエンジン付きとしてわざわざ専用のボートを用意する必要がなくなるだろう。

ただし、1人で後ろに座って船外機のスロットルを全開にすると、バウが上がりがすぎて前方の視界が悪くなってしまふ。荷物をすべてバウ側に置か、2人乗ったほうがバランスがいいようだ。

船べりには、魚探用のアダプターや、ロッドホルダーのクランプを取り付けられる。魚探やロ

ッドホルダーをボート屋さんでレンタルできれば、こうしたアイテムを持っていない人でも、一歩踏み込んだボート釣りが楽しめるようになるはずだ。

もちろん、素材は頑強なABS樹脂なので、過酷な使用にも耐えられる。また、修理が簡単なことも、レンタルボートに適しているといえるだろう。

重量が85kgあるため、乗用車にカートップするのはちょっと厳しい。カートップ用にテルヒボートを選ぶなら、ワンランク小さいSUNNYが適している。とはいえ62kgあるので、それでも1人でラクラクとまではいかないだろう。

ハルのデザインにも注目したい。左右に3本ずつ入ったストリップや、国産のボートにはない曲線が美しい。バウからスターンまでしっかりと入った大きめのスケグも、直進安定性に充分役立っているはずだ。

もちろん、個人で所有してもオーナーであることを充分満足させる質感を備えている。海辺に家がある人などが、棧橋にこのボートをつないで置いて、朝夕のマヅメ時にちょっと海に出る。そんな使い方もよく似合う、ちょっとオシャレなミニボートだ。

全長	380cm
全幅	150cm
艇体重量	85kg
定員	3人
最大馬力	8馬力
艇体価格	22万8000円